



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

人間を、
いちばん遠くに
連れて行くのは、
想像力と創造力。



2017

文学部 Faculty of
Humanities

学科の壁を超えて、 人文学の広さと 深さを。

文学部横断型 人文学プログラム

横断型人文学プログラム(IHP*)は、学科の専門の枠を超えて、今まで考えてもみなかったつながりを発見する、そんな創造的な学びの機会を提供する新しいプログラムです。

学科の壁を超えた3つのコース、「身体・スポーツ文化論」「芸術文化論」「ジャパノロジー」が用意されています。

3コースにそれぞれ指定された科目があり、各自が興味をもった分野を選択し、知識を深めてゆくことができます。

2017年度からは、いよいよプロジェクト・ゼミを開講します。

プログラムを修了すると「プログラム修了認定証」が授与されます。

*IHP: Interdepartmental Humanities Program

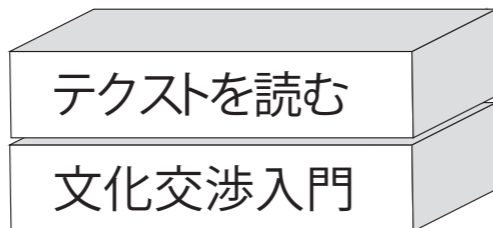
*テキストを読む

文字に限らない広義のテキストの概念、たとえば遺跡や遺物、美術品、映像作品、メディア、身体、社会風潮など、それぞれの読み方を学び、各々の特性を理解した上で、それらを批判的に読む視点を養います。

*文化交渉入門

外来文化の受容や自国文化の発信の際に生じる文化変容について、歴史的事実や現代の事例、たとえば翻訳や、美術・音楽・演劇・スポーツのプロモーションの際に生じる現象などを考察し、文化現象を相対的に見る視点を養います。

共通基礎科目



テキストを読む

文化交渉入門

*東洋身体文化論

日本の武道を中心に、スポーツ人類学とスポーツ社会学及び武道論の視点から、東洋身体文化の歴史、特性、身体技法、国際化と競技化を考えます。

*世界のスポーツ・身体文化論

世界各地域のスポーツ・身体文化を俯瞰し、その共通点や独自性を浮き彫りにすることで、グローバルなスポーツ文化とエスニックなスポーツ文化の世界を学びます。

*現代文化としてのスポーツ

人と人、人と社会とを繋ぐ媒体として重要な機能を果たし、総合科学としても多種多様なアプローチが可能な「スポーツ」について考察します。



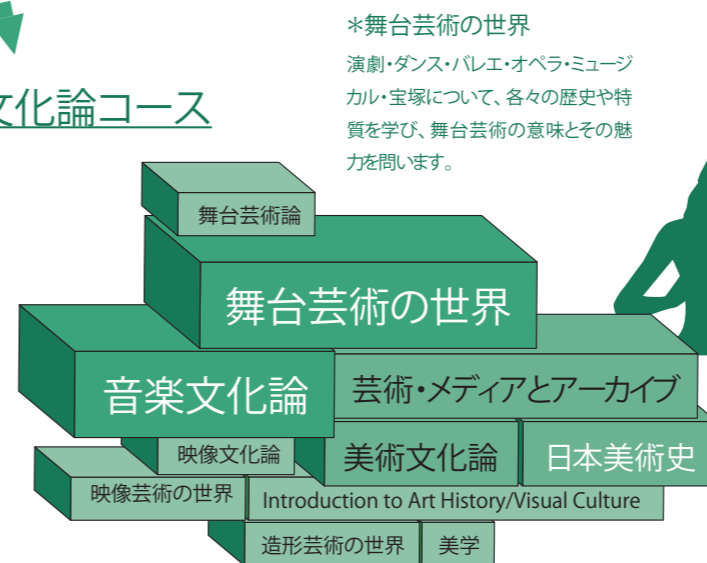
身体・スポーツ文化論コース

3つのコース

芸術文化論コース

*音楽文化論

音楽は娯楽だけでなく歴史や思想と深い関係があることを踏まえ、「異文化交流」という点にも注目し、作品をたどっていきます。

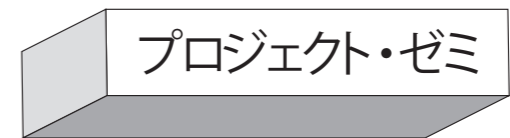


*舞台芸術の世界

演劇・ダンス・パレエ・オペラ・ミュージカル・宝塚について、各々の歴史や特質を学び、舞台芸術の意味とその魅力を問います。

*プロジェクト・ゼミ

学生の興味にあわせて作りあげるクラスです。研究テーマを定め、複数の学科の学生が協力してリサーチ、分析、場合によってはフィールドワークを行うなどして、最終的にプレゼンテーションへつなげていき、研究成果の発表会も行う予定です。



プロジェクト・ゼミ

*フィールドワーク入門

ジャパノロジーに必要なフィールドワークの方法を、理論から実践まで多角的に学び、報告書作成まで一貫した作業を経験する授業です。



知らない『日本』に逢いにいこう!

*ジャパノロジー概論

列島文化の〈内なる多様性〉と〈外からの多様性〉を交差させ、まったく新しい〈日本像〉を発見・構築し、発信してゆく授業です。

*日本思想

日本独自の思想家として、道元と親鸞の言葉を手引きに、世界宗教としての仏教が日本でどのような新しい思想を生み出したかを探ります。

※上記の科目は、現在予定されているものです。科目名、内容については変更の可能性があります。

あなたの学科、 入って見たらイメージどおり？

外から見えない文学部のおもしろさ。学生たちに聞いてみました。

小説を中心とした文学を学ぶイメージでしたが、予想以上に知識の幅を広げることができます。ミュージカルなどをはじめとして、学べるジャンルも様々。一語一語にこだわって緻密に読む訓練もしっかりしながら、幅広く、バランス良く学べます。

英文学科

4年 邑上萌香

No!



哲学的なことについて自分で考え、話し合う機会が増えました。対話形式の授業があるだけではなく、友達とも日常的に話し合っています。それができるのは、「信頼ってなんだ?」「笑えるってなんだ?」というように哲学の話が日常に直結しているからでしょう。

哲学科

2年 野村集平

Yes!



地理歴史の教員免許が取りやすいカリキュラムなのと、ドイツ近現代史を特に勉強したくて、ここを選びました。指導が丁寧で、ゼミや授業での推薦図書を通して自分が興味を持つ分野に関して学びを深めることができます。

史学科

3年 田中隆斗

Yes!



サッカーが好きでドイツ語を学び始めたのですが、語学教育や、留学など、ここまで丁寧なサポートがあるとは正直思いませんでした。専門的な学科の授業がある一方で、他学部他学科の授業も興味次第でたくさん取れることも意外でした。

No!



少人数でアットホームと聞き、そこに惹かれました。実際そのとおりで、先生との距離も近く、何か質問があればすぐ聞ける雰囲気があります。週6回のフランス語の授業は大変ですが確実に実力はつきます。留学制度も充実していて、私も1年間留学する予定です。

ドイツ文学科

2年 露木元太

フランス文学科

3年 岡部ゆりあ

Yes!



放送、新聞、出版など各媒体について、幅広く専門的に勉強ができ、自分の意欲次第で様々なサポートとチャンスが得られます。予想以上に実践的で、私は朝日放送パリ支局やTBS報道局へのインターンで、海外と日本、双方の報道の現場を体験することができました。

地域方言や若者言葉、外国人の日本語学習法に興味があり、母語話者の視点で日本語を再度見つめ直そうと国文学科を選びました。入学後、改めて昔の西洋人たちが遺した日本語に関する資料の存在を知り「外から見た日本語」への理解を更に深めているところです。

No!



No!



国文学科

3年 黒川茉莉

新聞学科

4年 辻香菜子